

本院で鼠径部ヘルニア手術を受けられた患者さん・ご家族の皆様へ

～カルテ情報の医学研究への使用のお願い～

【研究の名称】

膨潤麻酔を併用した腹膜外腔アプローチによる腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術の有用性についての検討

【研究の対象】

この研究は、1997年4月1日から2020年3月31日に当院で鼠径部ヘルニアの手術を受けられた患者さんを対象としています。

※ ご自身が該当するかご不明な場合には、末尾の照会先までご連絡下さい。

【研究の目的と意義】

当院では鼠径部ヘルニアの手術中に膨潤麻酔を行い、手術後の痛みを和らげる工夫を行っています。この麻酔を導入する前後で手術の成績を比べ、膨潤麻酔の有用性を評価する研究を行っています。

※ 膨潤麻酔とは、手術を行う空間に局所麻酔薬と血管収縮薬を投与するものです。

【研究の方法】

1997年4月1日～2020年3月31日に、当院で鼠径部ヘルニアの手術を受けられた患者さんのカルテから下記①～④を収集し、膨潤麻酔を導入する前後で比べます。

- ① 患者さんの背景： 性別、年齢、身長、体重、これまでの病気、現在も罹っている病気
- ② 手術前の状態： 鼠径部ヘルニアの種類、再発か否か、手術前の血液検査結果
- ③ 手術所見： 手術時間、手術中の合併症、使用したメッシュの種類
- ④ 手術成績： 手術後の痛み、使用した痛み止めの種類と量、手術後の合併症、手術後の入院期間、手術後1日目の血液検査結果、再発の有無

【研究の期間】

大分大学医学部倫理委員会承認日～2025年3月31日

【使用する情報の取り扱いについて】

保存方法： 個人は通し番号で管理し、個人を識別できないようにします(匿名化)。この匿名化されたデータをパスワードで保護したUSBメモリに保存し、当院医局で管理します。

保存期間： 本研究の終了後10年間保存します。

廃棄方法： USBメモリは初期化した上で物理的に廃棄します。

公表への配慮： 研究結果は学会や医学雑誌、ホームページ等に発表されることもありますが、あなたのプライバシーに関する全ての秘密は保たれます。

その他： この手術法の成績を他の施設と比較する場合や、より良い手術法が開発された場合の比較に、本研究で得た情報を利用する可能性があります。その際は当院ホ

ホームページ等で情報公開し、いつでも同意の撤回が可能です。

【研究組織】

研究責任者： 膳所 憲二(院長)

研究分担者： 重光 祐司(副院長)、林 秀一郎(副院長)、原 貴生(外科部長)

【研究資金、患者さんの費用負担、利益相反について】

この研究に費用はかからず、患者さんの費用負担もありません。利益相反も発生しません。

※ 「利益相反」とは、研究結果に影響する利害関係(金銭の授受を含む)を指します。

【研究の参加等について】

本研究へ参加は自由です。本研究にあなたの診療情報を使用して欲しくない場合は、遠慮なく下記の相談窓口までお知らせください。参加を拒否されても不利益を被ることはありません。但し、参加拒否時点で既に研究結果が論文や学会等で公表されている場合など、研究結果からあなたを外すことが出来ない場合があります。

【相談窓口】

担当者： 重光 祐司 (しげみつ ゆうじ)

連絡先： 膳所胃腸肛門泌尿器病院 (☎ 097-534-0035)